

議 事 録

会議名	平成29年度第1回寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会		
開催日時	平成29年5月19日（金）午後2時00分から午後4時00分		
開催場所	寒川町消防本部 3階 講堂		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>< 委員 > 梅村仁（委員長）、金子一茂、松島幸司、豊田敏樹、西郷公子、前田久子、牧戸雅子</p> <p>（欠席者） 田中雄介、大谷勝彦、伊與田能輝、豊田大知、鈴木潔、太田良勝、沖本雅樹、高坂薫</p> <p>< 事務局 > 企画部長：深澤文武、企画政策課長：高橋陽一、同主幹：青木裕昭、同主査：三澤忠広、同主任主事：山下道治</p> <p>< 事業担当課 > 広報戦略課長：大八木清勝、協働文化推進課主査：越原啓介、町民安全課副主幹：工藤宏、同主査：佐野修、子育て支援課長：宮崎彰夫、保育・青少年課副主幹：徳江理恵、健康・スポーツ課長：亀井正人、産業振興課長：大川修、都市計画課長：小林正直、教育総務課長：長岡賢一、学校教育課長：臼井浩美</p> <p>※ 傍聴者4名</p>		
議 題	(1) 平成28年度実施事業の検証及び平成29年度スケジュールについて		
決定事項	議事- (1) 平成28年度実施事業の検証及び平成29年度スケジュールについて 【事務局及び事業担当課から内容説明し、委員から別添のとおり各種意見等あり】		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>○開会 議事までの間、深澤部長が司会進行</p> <p>○議題（議事進行：梅村委員長） （梅村委員長）委員長の梅村でございます。本日はよろしくお願ひします。議題に入ります前に、今回の議事録承認委員の確認についてですが、承</p>		

認委員については、「名簿順」ということになっております。今回は西郷委員になりますので、よろしくお願ひします。
それでは、議事を進めてまいります。
議題1平成28年度実施事業の検証及び平成29年度スケジュールについて
について事務局から説明をお願いします。

<事務局から平成28年度実施事業の検証及び平成29年度スケジュールについて
概要を説明>

資料番号1 総合戦略概要

<事業担当課からエコノミックガーデニング推進事業について概要を説明>

資料番号2 取り組み状況点検シート平成28年度の取り組み

資料番号3 進行管理票（平成29年度）

（梅村委員長）ご意見ご質問等ございましたらご発言をお願い致します。

（西郷委員）全体的に非常によかったというか、待っていたぐらいの感じで、
タイミングもよかったのかなというふうに、数字からは感じています。

今後の取り組みも、いろいろメニューがあつて、とてもいいと思つてい
ますが、2点だけちょっと気になっています。1点は、税金を使ってコン
シェルジュの方たち3人雇つて、非常に効果があるということで、件数な
どを見れば、数はばっちりなんですけれども、今すぐではなく、再来年の
事業でもいいのですが、もう少し成功事例とか象徴的な事例というのを町
民に広く発信するような仕組みも、いずれ視野に入れて、やっていただ
きたいと思つています。こういう人が創業してうまくいっているのだとか、事業
継承ではこういう人たちが継承できてよかったねとか顔が見えることのほ
うがいいかなと思つています。

もう1点気になるのは、広い土地がないので、企業誘致ができないとい
う文言がありますが、それで良いのかということ。これだけ製造業があつ
て、税金もそこからかなり潤沢に得てきた町の存立基盤という意味でも、
何かもう少し工夫して広い土地を生み出せれば、縦貫道もありますし、
企業は来てくれそうな気がします。今すぐ何かできなくても、そういうこ
とを含めて広い土地を生み出すような施策も必要なのではないかと思つて
おります。

（梅村委員長）今のご意見とご質問について、ご答弁いただければと思いま
す。地域経済コンシェルジュの関係と、企業誘致についてももう少し可能性
があるのではないかということです。どうぞ。

（事業担当課）まず1点目の地域経済コンシェルジュに対する成功事例等です
が、地域経済コンシェルジュが取り組んでいる事業で、成功事例という形
ではないのですが、広報の7月号に企業がこのような取り組みをやつてい
ますというご紹介を広く町民に向けて行う予定で、現在準備を進めており
ます。

そして企業誘致の土地の関係ですけれども、現在、町では田端に工場を
誘致できる土地を準備できないか、作業を進めております。そちらで準備
できれば誘致できるような形になりますので、よろしくお願ひいたしま
す。

（梅村委員長）ありがとうございます。他にご意見がなければ、私から一つだ
け。湘南信用金庫さんも入られた創業支援ネットワーク連絡会を取り組み
されているのは、すばらしいことだと思つているのですが、まだ始まった

ばかりだと思うのですが、実際にどういったことを議論していくのでしょうか。いろいろな情報があると思うので、言いにくいとは思いますが。

(事業担当課) 創業支援ネットワーク連絡会は、町内のそれぞれの認定関連機関の今後の取り組み方、それぞれどのような取り組みをさせていくか皆さんで共有していくために開いています。1月については、関連機関の取り組みについてというような形と情報共有、それと、29年度創業に伴う支援策についての町の説明、また、経済産業省の方をお呼びして、国の施策の説明などをしております。

(梅村委員長) わかりました。他にございませんでしょうか。よろしいですか。

では、今回の評価は当委員会に任されております。1つ目のエコノミックガーデニング推進事業につきまして、K P Iの事業効果は有効であったと言えるのではないかと思います、よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして、内部評価に対する評価でございますが、これも適当であるということで、よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして、観光推進事業について説明をお願いします。

<事業担当課から観光推進事業について概要を説明>

資料番号2 取り組み状況点検シート平成28年度の取り組み

資料番号3 進行管理票(平成29年度)

(梅村委員長) ありがとうございます。ご意見ご質問等ございましたらご発言をお願い致します。特にございませんか。では、私からよろしいでしょうか。寒川神社とは観光に関して意見交換というはされているのですか。まちづくりにとって、寒川神社は、キーになるところですけども、ラフな会議でも結構ですが、意見交換はあるのでしょうか。

(事業担当課) 担当レベルでの話し合いというのは行っておりません。ただ、寒川神社を核とした拠点づくりにおいては、神社の宮司、寒川町の町長などが委員となって会を設けておりますので、そのような中で話し合いが少しは出ているのではないかと思います。

(梅村委員長) ほかにいかがでしょうか。どうぞ。

(金子委員) 今年度も同じような形で進めていくということですが、もうちょっと盛り上げるような施策というか、少し参加人数を増やしていけるような仕掛けは、特に考えていないのですか。

(事業担当課) これまで、神輿まつりでの神輿体験は、お子さんだけということでしたが、今後、大人の方も参加できるというようなお話があります。今、観光客は、体験することを求めているようなので、チラシに大人の方の神輿を担ぐ体験ができることを表に出していこうと考えています。

(金子委員) 神輿まつりに関しては、4基のお神輿が去年は鎮座してお祭りをやったと思いますが、お神輿を担ぐ人の中に町外の方が多くいて、神社でも問題になっている部分があるなんていう話は、聞いてらっしゃいますか。

(事業担当課) はい。

(金子委員) どのように対応を考えていますか。難しいとは思いますが。

(事業担当課) 町内でも、担ぐ方を増やすために神輿会の皆さんも、小さいお子様から、お神輿とかお祭りに関心を持っていただくということで、段ボール神輿をつくって、その場でお子様たちを呼んで、神輿、お祭りを楽

しんでもらうというような取り組みを進めています。小さいころから神輿やお祭りに親しむというような取り組みを進めて、徐々にでも担ぎ手を増やしていこうと考えています。

(西郷委員) 今のご質問ともちょっと関連するのですが、神社は重要ですが、観光協会のことが一言もこの中に触れられていないことが、ちょっと気になります。観光協会もいろいろやろうとされている中で、観光協会との連携で、さっき金子委員がおっしゃったような盛り上げという、びっちょり祭とかの大きいイベントだけじゃなくて、もう少し細かい、もうちょっと軽いことでも、盛り上げていけるようなことが、もう少し盛り込まれてもいいのではないかとこのふうに感じました。

(梅村委員長) 実際に観光協会とはどのように連携していますか。

(事業担当課) 観光協会とは関係を密に持っています。実際、ここに書いてあるお祭りも、観光協会との連携で行っています。また、それ以外でも、観光協会が町に、例えば町内に観光案内板がないので、観光案内板の設置の要望があるなど、そういう部分のお話し合い等も行っています。

(梅村委員長) わかりました。今、委員からお話がありましたが、ここに、本委員会としては加筆することはないですね。それは意見として出していただくだけで。

(事務局) 外部委員会からの意見を書き込む欄が、取組状況点検シートの最後に「取り組みの改善」としてあります。委員のご意見はこちらに記載していきます。もしくは、この内容に修正したいとか、そういう必要があるということであれば、調整させていただいて、修正していきたいと思っています。

(梅村委員長) では、本委員会が出た意見は、ここに入ることもあると。それはまた成立した後ということですね。

(事務局) 基本的には、出していただいたご意見は、こういうご意見があったということで、書き込んでいきます。担当課は、それを踏まえて事業を展開していきます。またそれを委員の皆様にご確認いただくという流れになります。

(梅村委員長) わかりました。では、ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、評価のほうに入ります。K P Iに対する事業の効果でございますが、特に異論はございませんので、有効であったということによろしいでしょうか。

それと、内部評価でございますが、評価は適当であるとしてよろしいですか。なお、先ほどもご意見ありましたように、委員からの意見につきましては、また追記していただくということをお願いします。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして、タウンセールス推進事業について説明をお願いします。

<事業担当課からタウンセールス推進事業について概要を説明>

資料番号2 取り組み状況点検シート平成28年度の取り組み

資料番号3 進行管理票(平成29年度)

(梅村委員長) ご説明、ありがとうございます。では、ご意見、ご質問等ございますか。

(松島委員) このタウンセールス推進事業のところは、K P Iが定住等促進に向けたプロモーション活動メニュー数ということですが、狙うところは、定住していったらう方々をいかに増やしていくかということだと思いま

す。前年度はその方針策定で、これから具体的に増やすわけですが、例えば観光協会とか不動産協会等といった民間事業者との連携は、具体的にどういったイメージの連携を考えられているのかというのをちょっとお聞きしたいと思います。

(事業担当課) まず不動産協会とは、昨年度から少しずつ話し合いの場を持たせていただいております。ポータルサイトやさまざまな紙媒体を利用して、誘導すると先ほどお話しをさせていただきましたが、誘導したあと、どこに住むのか、どういった人たちに連絡をとったらいのかという不動産情報は、役場の人間にはわかりません。そういった面を不動産協会の方々にバックアップしてもらいまして、情報発信していただくということです。例えばどこに土地だけの物件があったり、建て売り物件があったり、マンションがあったり、借家があったりということ把握しているのは不動産の方々です。若い人のニーズに合うような公園の近くとか、古民家物件を探してほしいといった要望に応じられるような対応を不動産協会に構築していただきながら、そういったシステムをポータルサイトのほうに組み入れまして、外部から初めて寒川町に来た人たちに対して、よりわかりやすい具体的なイメージをワンストップで提供できるようなものを構築していきたいと考えております。

それと観光協会とは少しお話をさせていただいていますが、役場だけが盛り上がっていても仕方ありません。町外の方々が、初めて訪れたときにどんな観光名所があるのかなどが、わかるようにしたい。例えばボランティアの観光ガイドの方々と連携して、観光地も案内し、不動産協会からは、こんな物件がありますよというような相談がすぐできるような体制を築こうということが、外部の企業と連携を図っていくということでございます。

(梅村委員長) ほかにいかがでしょうか。どうぞ。

(西郷委員) 前にプロモーションの関係で入札されて落札していると思いますが、その会社と、このマーケティングマネジャーはどのような関係になるか、ちょっと教えていただけますか。

(事業担当課) 以前に落札したというのは、広報さむかわの制作業務委託のプロポーザルをかけさせていただきました。ですから、今回はそれとは全く分離させていただきます。

(西郷委員) 広報ですか。私が言っているのはプロモーション戦略の方です。

(事務局) プロモーション戦略の策定業務の関係が出ましたので、私のほうから説明します。

そのときのお願いした業者さんについては、あくまでも戦略をつくり込む契機で、冒頭説明がありましたような基礎調査の過程からプロモーションをつくるということを業務としてお願いしました。その業者さんと連携していくことは、基本的にはありません。これからやろうとしているのは、マーケティングマネジャーとして外部から登用し、プロモーションのツールもいずれかの業者さんに委託していく中で、マネジャーと委託業者との間のどういったものをどういう方向性でつくっていくのか、使っていくのかというような意味では、うまく連携してやっていきます。当然、町も関わりながら、そういった考えで進めておりますので、以前お願いしたプロモーションの関係については、戦略をつくった時点で、業務が完了していますので、その業者さんと連携していくということは、基本的には、ないということでございます。

(事業担当課) 追加、補足です。

(梅村委員長) どうぞ。

(事業担当課) そのプロモーション戦略のコンセプトや目標に基づいて、これから事業展開を図っていくのが、広報戦略課でございます。これまでの役

所の業務の中では、民間企業のマーケティング部門や営業部門に関するプロモーションに長けた者がいませんでしたので、そういった業務に長けた民間企業のノウハウを長年に渡って培われた方々をプロポーザルで登用しまして、私どもの広報プロモーション担当と統計マーケティング担当、それぞれの職員をある程度、誘導していただきながら、事業展開を図っていくといった形でございます。

(西郷委員) ちょっとわかりにくかったですね。つまり、広報戦略課が推進していく部署だけれども、プロモーション戦略との兼ね合いで、どうしていくのかという意味が感じられるような方向になっていないかなという感じがします。推進という意味で。とりあえずマネジャーを選べば、その戦略がうまく推進できるのか。全体像として、見えないところが若干ある感じはしました。

ただ、定住促進という一つのポイントで、KPIをつくられるという意味では、それでいいのかもれません。ただ、全体像としては何か、全部、定住人口に集約していいのかという気がしないではないです。

(事業担当課) あと、認知度の向上も目的の一つです。前年度に策定していたプロモーション戦略の基礎調査では、寒川町の名前があまり知られていないという結果が出ていますので、第一に認知度の向上に努めます。まずは知ってもらって、その後に訪問していただいて、最終的に住みたいというような何段階かの行程を検討しております。そのためのプロモーション活動の展開を図りながら、ツール等を作成して、まずは駅やSNS、ホームページといったものを活用して、認知度を広め、それからポータルサイトに引き込んできて、実際に住むにはどんな魅力があるのか、また、他市町村との差別化、どんな優遇措置があるのかと、その辺のところを見極めていただいて、寒川町に住みたいと思っていただくという流れです。そのときには、すぐに現場に案内して、こういった住まいがあります、こんなイベントがありますということが周知できるような形のアピールを積極的に行っていこうと考えています。

その際には、マーケティングマネジャーのこれまでの培ってきたいろいろなノウハウや人的ネットワークを使って、これまでの町ではできなかったような、例えばテレビやラジオ、SNS等でも、うまくターゲット層に合うような媒体に宣伝を差し込んでもらうといった方策等のアドバイスを受けながら、事業を展開に反映していこうといったものです。

(西郷委員) わかりました。

(梅村委員長) ありがとうございます。今、熱心なご説明をいただいておりますので。ただ、あまりマネジャーを前面に出し過ぎると、何か町のというより。そういう意味ですよね。

(西郷委員) そういう意味です。

(梅村委員長) 今のご説明の中ではあったのですが、委員は、多分、もっと町全体でやるんでしょうということをおっしゃっているんじゃないかなと思います。

では、大変恐縮でございますが、事業の評価のほうにまいりたいと思います。KPIでございますが、今、進めておるところでは有効であったと考えてよろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして、内部評価でございますが、これは適当であるということ、よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) ありがとうございます。続きまして、結婚・出産・子育て環境整備事業について説明をお願いします。

<事業担当課から結婚・出産・子育て環境整備事業について概要を説明>
資料番号2 取り組み状況点検シート平成28年度の取り組み
資料番号3 進行管理票(平成29年度)

(梅村委員長) ご説明どうもありがとうございました。では、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

(西郷委員) 意見です。寒川町の10人という待機児童ですが、わずか10人だけなら、どうにかできないのですかという批判する気持ちが、すごく強いです。今、待機児童ゼロにするために各自自治体、本気でやっています、何十人、何百人も待機児童がいる中で、なかなか待機児童が、ゼロにはならないという状況です。小規模保育園とか、もっといろんな、ありとあらゆる手だてを考えている時代に、この文を拝見すると、大規模修繕とか、いずれできるこども園とかに話が行き過ぎている気がします。寒川町は、女性をターゲットに移住・定住をという話があるわけですよね。もう女性たちに向かって、「ゼロです、うちは」と言わないで、どうするのですか。正直言って、本当に驚いてしまうというか、批判的で申しわけないのだけど、これだけはちょっと強く申し上げたいです。

(梅村委員長) 何かご意見ありますか。

(前田委員) 先ほど、20代から30代のお母さん、女の方をターゲットにというふうにおっしゃっていましたが、寒川町で、一つだけでもいいので、どこのまちにもかなわない子供のためのものがあると、それがすごくPRになるし、子供たちのお母さんたちは、いろんな情報を持っていますので、同じぐらいの仕方では、それほどメリットがないですよね。私も10人の待機児童に驚きました。前に聞いたときには待機児童ゼロだったということをおっしゃって、いつから10人になったのかなと。ただ、国の考え方で、待機児童も数え方によって、ちょっと違うというのも出てくると思うのですけれども、それをもっても10人ぐらいといったら申しわけないのですが。認定こども園って、これからそれが出てくるかということが、ちゃんとあるのでしょうか。

今回、予算額と決算額を比べると、1,000万円ぐらい少なくなっていたのかな。それで、一之宮愛児園のほうを修繕していただいたということの金額でしょうか。そこだけということだったら、ほかの金額は一体どこに。せっかくそれだけの予算があるのですしたら、もう少し何とかなかったんじゃないかと思います。

今度、さむかわ保育園のということですが、その間、園児たちはどのようにするのかとか、そういうのがよくわからないということで、お母さん方も不安になってくると、今言ったようなSNSじゃないけれども、情報が早いので、ここはこうだよというふうに行くと、もう何もしなくても、だんだん盛り上がっていく。お母さんたちとか、こっちは来たほうがいいわよとかそういうのが出てくるので、そういう細かいことというのは、とても大事だと思うのです。もうちょっと何か1つものがあると違う。いろんな自治体よりも、ここはいいんですよというものを一つだけでいいからつくってくれると、違うんじゃないかなと思います。

(梅村委員長) ありがとうございました。今のご意見やご質問についていかがでしょうか。

(事業担当課) 町としては、子育て支援策として、総合的にいろんなものを捉えて、ほかよりも優位性を持っていこうというような中で、例えば先ほど申し上げたような本年度から子育て世代包括支援センターの業務といったことに取り組んでいるところです。また、小児医療費の対象も拡充いた

しました。

そういった中で、今、ご意見をいただきました保育に関する部分については、確かに待機児童が解消されていないのは、事実でございます。本年度、子ども・子育て支援事業計画を中間年で見直しを行う予定でおります。認定こども園のお話がありましたが、実際、これは現在、大曲のところで具体的に話が出て、動いております。それを踏まえた形の計画の見直しを考えておりますので、そういった部分で、少しでも待機児童の解消につながるような形にしていければと思っております。

(梅村委員長) ありがとうございます。では、ほかにいかがでしょうか。

では、評価のほうに移らせていただきます。先ほどご意見ございましたが、K P Iというのは、事業の効果は有効であったと思われると思います。よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) また、内部評価に対する評価につきましても、同様に適切であると考えてよろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) ありがとうございます。では、続きまして、家庭教育推進事業につきまして、ご説明をお願いいたします。

<事業担当課から家庭教育推進事業について概要を説明>

資料番号2 取り組み状況点検シート平成28年度の取り組み

資料番号3 進行管理票(平成29年度)

(梅村委員長) ご説明どうもありがとうございました。では、ただいまのご説明に対してのご意見、ご質問等ありますでしょうか。

では、私のほうから。実際にK P Iを見ますと、目標値に対して実績値が、残念ながら届いていないですね。やっておられることは理解できるのですが、端的にどうでしょうか。中学校の場合は一応伸びている形になりますが、小学校の場合は逆にちょっと下がっている形になっておりますが、この要因というのは何だと考えておられますか。

(事業担当課) 家庭での学習習慣を持っていただくという中では、家庭の中にまで浸透させるというのは、ちょっとおこがましいのですが、家庭教育の楽しさ、難しさ、あるいは重要性を来ていただいた方にお話するという講座などはやっているのですが、それだけでは十分ではないと考えています。そこで、今回は家庭教育の手引きを使って家庭に入り、失礼な言い方かもしれませんが、気づいていただくという趣旨でございます。なかなか家庭への浸透が難しいところです。

先ほど課題にもありましており、手にとってもらえるもの、あるいは、現在ご理解いただいていない家庭について、どのように理解していただくかというところが、大きな課題です。100%克服は難しいと思いますが、そうしたところを解決していかないことには、目標値を達成できない、特に小学生の年齢が低い学年につきましては難しいのかなと思っておりますので、そこを中心に頑張っていきたいと思っております。

(梅村委員長) ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。どうぞ。

(金子委員) こんな質問、いいかわからないのですが、こういう事業を行って、実際の学力向上というのは、どのくらい見込めるのかなという。何かそういう指針みたいなのはありますか。

(事業担当課) 学力向上をターゲットとしたものは、次の事業ということで考えてございますが、こちらの家庭教育推進事業についても学力向上と関係すると思えます。家庭教育の支援という部分から、子どもを育て、子ども

の学力向上という環境、土壌を少しでもつくっていきこう、ボトムアップしていきこうというところです。

(梅村委員長) ほかに、ございますか。よろしいでしょうか。

では、評価のほうに入りたいと思います。先ほどのご議論の中で、K P I 事業の効果は有効であったと考えてよろしいでしょうか。基準値には至ってありませんが、努力はされていたと。よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして、内部評価に対する評価も、適当であるということでもよろしいでしょうか。ありがとうございます。

(各委員) 了承

(梅村委員長) では、続きまして、6 番目でございます。学力向上推進事業についてのご説明をお願いいたします。

<事業担当課から学力向上推進事業について概要を説明>

資料番号2 取り組み状況点検シート平成28年度の取り組み

資料番号3 進行管理票(平成29年度)

(梅村委員長) ご説明ありがとうございました。ご質問、ご意見ありますでしょうか。特にございませんか。

では、ないようですので、評価させていただきたいと思います。

K P I、事業の効果でございますが、有効であったと言えるのではないかと思います。

(各委員) 了承

(梅村委員長) また、内部評価に対する評価につきましても、適当であると言えるのではないかと思います。

(各委員) 了承

(梅村委員長) ありがとうございます。では、続きまして、7 番目でございます。子育て応援環境整備事業の説明をお願いします。

<事業担当課から子育て応援環境整備事業について概要を説明>

資料番号2 取り組み状況点検シート平成28年度の取り組み

資料番号3 進行管理票(平成29年度)

(梅村委員長) ありがとうございます。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。どうぞ。

(西郷委員) これ自体というよりは、男女共同参画ということで、子育て支援をその枠組みとして考えるのであれば、待機児童をなくすというのが、最大の男女共同参画というように考えます。県内の女性の人たちも、預けられるところがないと、もう仕事をやめなければいけないという、切羽詰まっている方たちが、たくさんいます。涙ながらに困っている方、たくさんいらっしゃるんですね。なので、どこで女が輝けるのかといったSNSの話ほど強烈でなくても、ひそかに泣いている人がいっぱいいるということ意識されて、タウンセールスという意味でも、例えば5年連続待機児童ゼロの町だってアピールできれば、みんな、来ちゃうというぐらい、みんな、困っていると思います、関東圏は。

なので、そういうことを何か徹底して支援というか、何かそういう本気

度というのをやると、全てにおいて、認知度も一気に上がります。100件来ても大丈夫ということをつも真剣に考えてやっている町なんだなというふうに思わせられれば、全てが寒川町にとって、あつという間にいい方向へ転がるということをもう少し再認識してやっていただきたいと思います。

幾つにも事業がまたがりますが、結果的にそうなると思うので、ぜひ、そういうことを意識されたらどうでしょうかと思います。

(梅村委員長) ほかにいかがでしょうか。特によろしいでしょうか。

それでは評価のほうにまいります。KPIに対する事業の評価ですが、有効であったと言えるのではないかと思います。よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして、内部評価に対する評価でございますが、適当であると言えるのではないかと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

では、続きまして、8番目でございます。安心なまちづくり整備事業でございます。よろしく申し上げます。

<事業担当課から安心なまちづくり整備事業について概要を説明>

資料番号2 取り組み状況点検シート平成28年度の取り組み

資料番号3 進行管理票(平成29年度)

(梅村委員長) ご説明ありがとうございます。では、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。どうぞ。

(豊田(敏)委員) 安心なまちづくり整備事業ということでもありますけれども、私も金融機関の現在の最大の問題は振り込め詐欺です。相変わらず件数は増加して、頻発しているという状況であります。金融機関は警察と協力して、全力を挙げて防止に努めておりますけれども、地域ぐるみで、意識の高揚といいますか、防犯の徹底ですね。その辺を寒川町も、やられているとは思いますが、今後、より強力に進めることを、安心なまちづくりという中の一つとして、ご検討いただければと思いました。

(梅村委員長) ありがとうございます。ご答弁いただけますか。

(事業担当課) この指標の中に振り込め詐欺が入ってなかったのですが、こちらには載せてないのですが、振り込め詐欺についても、全戸配布で、チラシを広報と一緒に配っています。また、主に高齢者が被害にあっているので、老人クラブなどに声をかけて、地元の老人が集まる会合などに警察官の方を講師として呼びまして、防犯とか振り込め詐欺についての講話をいただいております。

町といたしましても、振り込め詐欺の電話などがあつた場合は、警察から町へ連絡をいただき、防災行政無線などで呼びかけをします。今後も警察と連携して、振り込め詐欺については撲滅していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

(梅村委員長) ほかにございますか。どうぞ。

(金子委員) 防犯カメラの設置というのは大分進みましたか。

(事業担当課) 28年度から設置してまして、今後、継続して設置していこうと考えております。

(梅村委員長) 防犯につきましても、この前身のたしか行政改革だったと思い

ますけれども、外部委員会でも非常に熱い議論がされておりました、例えば交番設置の話なんか、住民からの要望というのは強かったと思います。そうした中で実現されてきて、防犯実績として大分減ってきたということで、取り組みとして、私、個人的にも頑張っておられるのだなというふうな認識しております。

では、ほかに。どうぞ。

(西郷委員) 防犯灯に関してなんですけれども、根拠があつて、住民要望が強ければ、もちろんたくさんつけていくということが、正しく、やっていくということが防犯対策の一つとしては、非常に重要なことだというふうには考えますが、商店街等では昔は半分ぐらい負担して、取りかえ等も防犯灯に関しては、商店街が受け持つというような時代も長く続いてきたのですが、だんだん超高齢社会になりまして、地域によっては、そういうことはできない。だから、防犯灯もお返ししたいというような話になったりして、防犯灯の問題というのもシビアな問題になってきていると聞き及んでおります。できたばかりのときは、点検や倒壊防止などのことを思いもしないです。このようなことが問題化しているんですけれども、そういうことも含めた設置方法などは、何か考えておられるのか。もしくは、どうされるのかというようなことを、もしあれば、教えていただきたいと思います。

(梅村委員長) 確認ですが、防犯灯の設置は全て自治体ですか、電気代等も含めて。

(事務局) 商店街の街路灯は補助金を活用していただいています。

(西郷委員) 補助金で、商店街でつけている？

(事務局) そうです。

(梅村委員長) 防犯灯に関する基本的な考え方につきまして、教えていただけますか。

(西郷委員) では、もう全部、直営ということで、球代えも含めて。

(事務局) 防犯灯については、全てLED化しましたので、電気料が抑えられています。また、それぞれの自治会から毎年、設置してくださいという要望があります。全てその要望どおりに設置するのは、財政的になかなか難しいのですが、昨年と今年は設置数を倍増しています。

(事業担当課) 一昨年までは20灯の設置でしたが、去年、今年は50灯設置としています。

(事務局) 計画的にこれから設置していきたいと思っています。また、開発においては、防犯灯を設置してくださいというお願いしておりまして、設置後は町に寄附していただけます。最近、寒川は住宅開発が進んでいる部分がありますので、開発にあわせて設置されていくという形になります。

(西郷委員) そういう意味では、維持管理、それは水道とか下水道とか道路と同じような感覚で、計画的に、将来を見通した形で増やしているということではないのですか。

(梅村委員長) ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、評価のほうに移りたいと思います。KPIに対する事業の評価でございますが、有効であったと考えられるのではないかと思います。よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして、内部評価に対する評価でございます。適当であると考えられると思います。よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) では、続きまして、若者参画推進事業のご説明をお願いいたします。

<事業担当課から若者参画推進事業について概要を説明>

資料番号2 取り組み状況点検シート平成28年度の取り組み
資料番号3 進行管理票(平成29年度)

(梅村委員長) ご説明どうもありがとうございました。では、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

では、私から1つ。まちびとすたいは具体的な活動って、何かされているんですか。

(事業担当課) 昨年度の10月に発起式を行いまして、設立されたのですが、具体的なイベントにつきましては平成28年度におきましては、開催ができませんでしたので、今年度、検討を進めてまいりたいと思っております。

ただ、民主体で起きている団体でございますので、町ももちろん絡んでいきますが、できるだけ、民主体で進めていくような形になります。

(梅村委員長) 今ちょっとお言葉をとってあれですけども、イベントのための場ではないですか。

(事業担当課) そうですね。若い世代によるまちづくり検討コミュニティの形成に向けたきっかけづくりを行うというのが、事業の目的でございます。イベントを行うことももちろん、ございますけれども、あくまで民主体での、そういったきっかけづくりを行っていくというのが、趣旨です。

(梅村委員長) つまりは、せっかくつくったのに、現段階では動いていないということで、よろしいのですか。ほかにございますか。よろしいですか。

では、評価のほうにまいります。KPIに対する事業の効果でございますが、いろいろされておられます。有効であったと思います。よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) 続きまして、内部評価に対する評価でございますが、適当であると考えます。よろしいでしょうか。

(各委員) 了承

(梅村委員長) それでは、最後でございます。公共交通環境整備事業のご説明をお願いいたします。

<事業担当課から公共交通環境整備事業について概要を説明>

資料番号2 取り組み状況点検シート平成28年度の取り組み
資料番号3 進行管理票(平成29年度)

(梅村委員長) ご説明ありがとうございました。では、ご意見、ご質問等ございますか。

では、一つ教えてほしいのですけれども、倉見駅のバリアフリー化といえますのは、町の負担というのは大体何割ぐらいになるのですか。

(事業担当課) JRと国と地元自治体、いわゆる寒川町、3分の1ずつの負担

	<p>になります。工程は、まず調査設計、基本設計というものがございまして、それについてはJR全額負担となっています。その後、詳細設計、工事につきましては、国、町、JRが3分の1ずつということになってございます。</p> <p>(梅村委員長) ありがとうございます。ほかにございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、評価のほうに移りたいと思います。KPIに対する事業の効果でございますが、有効であったと考えられるかと思えます。よろしいでしょうか。</p> <p>(各委員) 了承</p> <p>(梅村委員長) 続きまして、内部評価でございますが、適当であると考えてよろしいのではないかと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>(各委員) 了承</p> <p>(梅村委員長) それでは、各委員のご支援、ご協力を賜りまして、本日の全ての事業検証が終わりました。ありがとうございます。</p> <p>ここまでの中で、何か委員からご意見、ご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>○その他</p> <p>(梅村委員長) では、続きまして、その他でございますが、事務局から何かございますか。</p> <p>(事務局) 事務局から2点、お知らせいたします。</p> <p>1点目は、次回の会議の予定でございます。寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会につきましては、各事業の上半期の進捗状況について、実施状況の中間報告と各事業のKPI達成見込みについて、報告を予定しております。開催時期は11月ごろを予定しております。</p> <p>2点目は、本委員会につきましては、本年5月末で任期満了となり、改選を迎えることとなりますので、改めまして、皆様の所属等に委員のお願いについて、依頼をさせていただきますので、引き続き、本委員会につきましてご協力いただきますようお願いいたします。各通知については、追って、ご通知させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>事務局からは以上です。</p> <p>(梅村委員長) ありがとうございます。今の件につきまして、何かご質問等がございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、以上で本日の議事は全て終了いたしましたので、事務局にお返しいたします。</p> <p>○閉会</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料番号1 総合戦略概要</p> <p>資料番号2 取り組み状況点検シート平成28年度の取り組み</p> <p>資料番号3 進行管理票(平成29年度)</p> <p>寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会設置要綱</p>
<p>議事録承認 委員及び議 事録確定年 月日</p>	<p>西郷 公子 (平成29年7月20日)</p>